

制度改革が業界再編の引き金に

保険薬局の動向

保険薬局業界は、2016年度調剤報酬改定で導入された「かかりつけ薬剤師」制度、健康サポート薬局制度の届け出スタートという大きな制度改革を受けた動きが注目されている。特に調剤報酬改定や薬価引き下げなどの影響は、主な調剤チェーン各社の中間業績にも表れており、多くの企業はM&Aを含めた新規出店効果で売上増を確保しつつも、利益面では厳しい状況に直面している。そのため、調剤チェーンなどによるM&Aが活発化してきており、今後もこうした再編含みの流れは加速しそうで、就職先選びの参考としたい。

16年度改定では、「かかりつけ機能を手厚く評価し、門前薬局の評価は適正化する」との方針のもと、服薬状況の一元管理などを行う薬剤師を評価する「かかりつけ薬剤師指導料」(70点)が新設される一方で、いわゆる大型門前薬局を想定した調剤基本料が創設された。これらの影響は調剤チェーン各社を中心に薬局を直撃し、直近の17年2～4月期決算の主な調剤チェーンの中間業績にも色濃く表れた。

多くの企業が、M&Aを含む新規

出店効果等で売上高については何とか増収を確保したものの、薬価改定と調剤報酬改定の影響を受け、利益面は軒並み減益となっている。

また最近では、M&Aによる再編が活発な業界として調剤薬局が挙げられていることも注目だ。日本M&Aセンターによると、数年前から買収の成約件数が目立って増加傾向にあり、独自調査によると約4割の調剤薬局が「M&Aによる譲渡の打診を受けたことがある」と回答したとされ、M&Aが活発化していること

うかがえる。

今後、次期調剤報酬改定、かかりつけ薬剤師制度のさらなる推進により、単独の薬局では医療環境の変化に対する要求のレベルを満たすことが難しくなることも想定され、同センターでは「よりM&Aが加速するのではないか」との見通しを示す。

一方、調剤チェーンの中には、将来を見越した先進的な取り組みを始めている企業も出てきている。アイングループのアインメディオは、藤田保健衛生大学病院と連携し、薬局で癌専門薬剤師を養成する取り組みをスタートさせる。両者の提携のもと、アインメディオの薬剤師が藤田保健衛生大学病院に通って研修を行い、日本医療薬学会認定の“癌専門薬剤師”の取得を目指すというものだ。今回の取り組みが全国の薬局薬剤師に大きな励みとなることが期待されている。また、大手チェーンの日本調剤は、日本薬学会の第三者確

認委員会から、健康サポート薬局研修実施機関に認定された。健康サポート薬局は、患者が服用している医薬品などを一元的に管理し、指導する「かかりつけ薬剤師・薬局」としての基本的な機能を備えた上で、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援できる薬局。薬局を地域の健康相談窓口に位置づけることで、地域住民の疾病予防につながったり、これまで以上にセルフメディケーションの浸透を図り、医療費の削減につなげることが狙いだ。

現在まで、届け出数は全国的に見ても多くはないが、着実に数を増やしている状況。こうした中、今回の認定は調剤チェーンでは初となる認定。日本調剤では「今後は全都道府県で展開する当社の事業ネットワークを生かし、地域の研修希望の薬剤師も含めた全国レベルでの研修を開催していく」としている。

このように、調剤チェーン各社を中心にM&Aや健康サポート薬局への展開など、保険薬局のあり方も小規模からチェーン、さらに機能も多様化へと進んできている。

コンビニとの競争時代 到来か

ドラッグストアの動向

最近のドラッグストア業界は、店舗数は毎年500店舗ほど増えているものの、業界規模の伸びは少ない。ドラッグストア業態の取扱カテゴリーのほとんどが業態シェア70%前後になっており、既に伸びしろがない状況だ。それでも、業界団体の日本チェーンドラッグストア協会(JACDS)がまとめたレポートによると、シェアの低い保険調剤や食品に力を入れている店舗は活性化傾向にある。保険調剤は、登録販売者の導入と処方箋の面への広がりによって、薬剤師の不足状況はあるものの、ドラッグストア調剤併設店舗が増加している。最近ウエイトが拡大している食品は、店舗の大型化、多店舗出店によって商圈が狭小化している中、かえって地域住民から食品の取り扱いへの要望が大きくなっており、その結果、売上を伸ばしている状況につながっているようだ。

実際、主な大手ドラッグストア企業の決算状況を見ると、大幅な増収増益を達成した企業がある一方、微

増収にとどまっている企業もあるなど好調さにバラツキがある。17年2月期の中間決算を見ると、大幅な

増収増益を達成したのがウエルシアホールディングス。売上高は前年同期比34.6%増となったほか、利益面もいずれも二桁の伸びを示した。

同HDは、自らの健康を自ら守る取り組みが民間で行われる時代になったことに非常に大きなチャンスと手応えを示しており、取り組みを進める24時間営業やウエルカフェ構想が成長し続けるための必須条件と位置づけている。

一方、業界レポートでは、今後の調剤報酬は下げられる傾向にあり、これまでのような利益は望めなくなること、安さと便利さで顧客を獲得してきた食品についても、市場の減少や需要構造の変化、狭小商圈によ

るコンビニエンスストアとの競争激化という様々な要因から、ドラッグストアという業態を牽引するカテゴリーであり続けたいとし、冷静な視点で先を見据えている。ドラッグストア業界は、これまでの安くて便利な買い物の役割だけでなく、超高齢社会においてどのような役割や機能を果たす業態に進化できるのか。そこに成長を占うカギとなる。

こうした中、ドラッグストア業界・企業でも新たな動きや試みが始まっており、新しい需要に対応するドラッグストア店舗も出現してきている。10年前には赤ちゃんのオムツが売れた地域が、今ではほとんど売れず、最近は高齢者のオムツが売れている。それがドラッグストアの実態である。

これは高齢化社会では、地域の需

→

マイナビ2018 このイベントは2018年3月卒業予定の薬科大生3年生(4年制)、および5年生(6年制)、大学院生(修士・博士)、卒業後も就職活動を継続中の薬学部出身の既卒者、外国人留学生対象です。

東京会場

薬学生のための
マイナビ
就職EXPO

¥0 入場無料 入退場自由 服装自由

3/5 12:00~17:00
ベルサール
渋谷ガーデン

無料/予約優先

マイナビ2018

出展予定法人 ※順不同

ジョーン・エンド・ジョーンズ 日本法人グループ、アステラス製薬、エイツーヘルスケア【伊藤忠グループ】
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン、第一三共、武田薬品工業、ロート製薬、再春館製薬所、帝人
医薬品医療機器総合機構、IMSグループ、東京都立病院(8病院)、徳洲会グループ、アイングループ
クオール、日本調剤、日本メディカルシステム、ウエルシア薬局
富士薬品、上尾中央医科グループ病院、医療生協さいたま生活協同組合、海老名総合病院、諏訪中央病院、手稲漢会病院、戸田中央医科グループ【TMG】、長野市民病院
脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院、北水会記念病院、北海道厚生病院、静岡県立静岡がんセンター、アイアファーマシー・アイセイ薬局、秋本薬局
あけぼの薬局グループ(リバーサル)、アップルケアネット、アポロメディカルホールディングス、イオンリテール(イオン薬局)、イマガフューチャー
イノベションオブメディカルサービス(なかよし薬局)、ワイズ【タリヤ薬局・サンリツ薬局】、ウインファーマグループ、うさぎ薬局、エスシーグループ、エファアンドエフ
エムハート薬局(ミック)、オオノ、オムニバスグループ、川田薬局、クスリのアカヤマ、クスリのマルエ、くすりのマート、クラフト(さくら薬局)、コスモファーマグループ
ココカラファイン ヘルスケア(調剤事業部)、小島薬局、コスモプラス、サエラ(サエラ薬局)、サンハルク、三祐産業(福徳薬局)、シーエスグループ、ジェイビー
シナノメディカルプランニング(しなの薬局グループ)、新成堂、鈴木薬局、セントフォローカンパニー、総合メディカル(そうこう薬局)、山辺薬局、テー・ビー・シー、徳永薬局
トライアドジャパン(かもめ薬局)、トラストファーマシー、とをしや薬局、なの花薬局(ファーマホールディングスグループ)、南山堂(南山堂薬局/箱山堂薬局)
日本アポック、日本生科学研究所(日生薬局)、ノムラ薬局、はいやく、ハフモ ひばり薬局グループ、バル・オネスト、パワーファーマシー(中央薬局)、ビノキオ薬局
阪神調剤ホールディング、バンダ薬局グループ(有限会社ワイエム)、ビーエフシー【ボプラ薬局】、ファークロス、ファーマシー、ファーマシー中山、みよの台薬局グループ
ファーマライズホールディングス、フォーラル、富士薬品グループ(富士薬品、フランド)、フロンティア(フロンティア薬局)、望星薬局、メイプル、薬樹、ヤマガチ薬局
メディカルファーマシー、龍生堂本店(クスリの龍生堂薬局)、カメガヤ(Fit Care DEPOT)、カワチ薬品、クスリのアオキ、くすりの福太郎、雄飛堂
クリエイトエス・ティ、コクミン、サンドラッググループ、スギ薬局(スギ薬局グループ)、セキ薬品【チュウリツ薬局】、千葉薬品【ヤックストドラッグ】
中部薬品 V・drug(バローホールディングス)、ツルハ、トモズ(住友商事グループ)、マツモトキヨシグループ など多数出展予定!

毎年人気の法人講演など実施!
薬学生のための特別講座開催!

無料/予約優先

※詳細情報は随時ホームページにて更新致しますので、ご確認ください。

予約受付中

マイナビ2018 薬学生ナビ 検索
http://job.mynavi.jp/yak

マイナビ2018 薬学生ナビ 検索
http://job.mynavi.jp/yak
マイナビ薬学生公式Twitter @mynavi_yak
マイナビ薬学生ナビ公式LINE @mynavi_yak
seminar@mynavi.jp
◆お問い合わせ 〒100-0003 東京都千代田区一橋1-1-1/ルイスビル1F 株式会社マイナビ ID6/パスワードのお問い合わせは/平日10:00~19:00 個人情報・登録金銭については/平日10:00~19:00 (マイナビヘルプデスク) 0120-015381 (学生登録センター) 0120-340153